



## 苦行と苦行の放棄

(パキスタン・ガンダーラ) 3～4世紀 『ブッダ展』より

城を出たシッダールタ王子は、髪を切り、みずばらしい服に着替え森林で修行者としての生活に入りました。二人の師の許で瞑想法を学び、すぐに師の境地に達したものの満足できずに師のもとを離れ、五人の仲間と厳しい苦行生活に身をおきます。しかし、断食をはじめ心身を極限状態に追いつめる苦行でも、悟りの境地に至ることはなかなか困難でした。

ある時彼は、極端な苦行や快楽を離れた「中道」こそ悟りへの道であると気づき、ついに苦行を捨てました。尼連禪河で沐浴をした後、偶然出会った村娘スジャータの差し出す乳粥(もろか)を食べ体力を回復した王子は、いよいよ悟りの場へと向かいます。その様子を見ていた五人の苦行仲間、彼から離れていきました。

画面右から順に、苦行中の王子の姿(苦行の釈迦)、尼連禪河での沐浴(足元に水の流れを表現)、女性からの乳粥の供養が描かれています。なお、仏伝によつてはスジャータ(あるいはナンダバラ)ではなく、二人の女性が乳粥を捧げたとも記されています。

題字：小山実千代(伯東寺坊守) 解説：中川正法(西蓮寺住職)

# 巡番報恩講法要を終えて

明福寺門徒総代  
政住 光(釋光峰)

二〇一三(平成二十五)年  
十月二十六・二十七日明福

寺にて巡番報恩講  
法要を執り行いま  
した。法要に当た  
りましては、明福  
寺門徒の方々のご  
協力と、御笠組内  
の住職並びに寺院  
関係者、それに組  
内各寺門徒の沢山  
のご参詣を頂き、  
厚く御礼申し上げ  
ます。

録では、一七六二(宝暦  
十二)年に勤められた記録  
があるそうで、このように長  
い歴史のある御笠組巡番報  
恩講を、今後も大切に続け  
て行われることを念じてい  
ます。

講師には、元筑  
紫女学園大学学長  
の小山一行先生を  
お招きし、盛会の  
内に法要が行われ、また台風の影響が心配されましたが、二日間とも秋晴れに恵まれ、稚児行列も無事に終了することが出来ました。



## 東日本大震災 支援金募金

坊守会長 中川 将子

御笠組仏教婦人会長会の募  
金活動に坊守会からも会長と  
副会長が参加しました。小雨  
降る一月三十日午前九時から  
約一時間JR二日市駅での活  
動でした。

街ゆく人々の大震災支援へ  
の関心は高く、若い方から年  
配の方まで幅広い年代の方に  
ご協力いただき、感謝の気持ち  
で一杯でした。

募金箱はそのまま福岡教堂  
に届けられ集計が行われまし  
た。総額二万八千四百五十六  
円の知らせに、仏婦会長の皆  
様とともに喜びを感じてお  
ります。



～大切な人を送る時、私たちができること～



CHIKUSHI

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 **筑紫葬祭**

葬祭式場 セレモニー 筑紫

本社 / 〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央3丁目2-21

TEL 092-925-4444(代)

セレモニー 筑紫 / 筑紫野市塔原東4丁目3-5 TEL 092-924-5177



お仏壇の **よーかどう**

お仏壇・仏具のご相談はお電話を!

筑紫野市二日市中央通商店街

☎092-924-1111



ほうとう けいしょうしき

## 法統継承式について

西福寺住職 和田法明（釋法明）

2013（平成25）年4月15日、立教開宗法要（春の法要）後、大谷光真ご門主様は、2014（平成26）年6月5日をもって本願寺住職並びに門主を退任されることを宣明されました。第二十四代ご門主より現本願寺嗣法、新門であります大谷光淳様へ、第二十五代門主の法統が継承されることになります。

法統とは「本願念仏の法義が次世代へ受け継がれる」ことであり、それは善知識であられる歴代の宗主方によって、世代をこえて受け継がれてきたご法義相統の歴史であります。

本願寺のお代がわりには代々譲り状によって継承されたといわれている。しかし、前回（第二十四代継承式）より譲り状に代わるものとして、ご譲渡式（非公開）が行われた。

この式のなかで、御影堂の御真影（親鸞聖人像）のお厨子の「御鍵」、宗派のご門主本願寺住職の公的な「御印」および紫の色衣の「御衣体」が譲渡されました。

今回も6月5日閉門後、本願寺に於いてご譲渡式が予定されています。

「御鍵」について少し申しますと、お厨子の扉は毎日開門前に鍵を開け開扉し、日没勤行後に閉扉し鍵をします。その業務は当直（宿直業務）の侍真がご門主様のお手代わりとして開扉閉扉の責務を勤めお厨子の御番をしています。私も本山に奉職中は宿直業務がりましたので、当直の侍真と一緒に御番をさせていただきました。しかし元旦の朝と御正忌報恩講の1月9日の速夜前にはご門主様みずから須弥壇にのぼられ、お厨子の扉を開ける「ご親開」をされます。この儀式は歴代門主に代々継承されました。即如ご門主様は今年の御正忌報恩講で最後の「ご親開」を執行しました。私も参拝させていただき尊いご勝縁を賜りました。

この度の法統継承式は、お念仏のみ教えをいただく私たちが、さらに多くの方々へ伝え広めるための大きな一歩として、意義あるものとなりますよう共に努めて参りたいと思います。

JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき... 24時間承っております

**筑紫農業協同組合**（JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館）

〒818-0057 福岡県筑紫野市三日市南2-1-3  
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組合員・NEW!にじの会 会員募集!!

漆 歴史と伝統の技で創る...仏壇・寺院用品

**(株)福岡 仏 掌 堂**

〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目9-1 TEL(092)561-7070代  
FAX(092)561-8463  
〔工場・夢工房〕福岡県八女市室岡1299 TEL(0943)24-2110

浄土真宗本願寺派九州地区門信徒の集い

「第二十二回仏教壮年宮崎大会」  
に参加して

大願寺門徒

渡辺 晋也(釋超証)

二〇一三(平成二十五)年十月二十七日、宮崎市内の「サンホテルフェニックス」において、「第二十二回仏教壮年宮崎大会」が開催された。御笠組から安楽寺の平嶋正一教区理事以下十四か寺十八人の仏教壮年等が参加した。

台風一過の秋晴れ、金木犀の花が薫る中、十月二十六日正午に教円寺を貸切りバスで出発した。まず、榮法寺の石内孝典会長から「この大会参加を通して、組内各寺の連携が一層緊密なものになるよう、二日間を有意義なものにしてください」とのあいさつがあった。

午後四時二十分、宿泊先・会場の「サンホテルフェニックス」に到着した。入浴、夕食後、平嶋教区理事の部屋に全員が集合し、「話し合い法座」さながらの積極的で活発な意見が交わされた。議題は、

「過去帳の取り扱い」、「法要・お盆の迎え方」、「金封の書き方」、「神(棚)」から「憲法改正」の問題にまで及んだ。終了したのは午後一〇を過ぎていた。

大会は十月二十七日、会場はホテル内の国際会議場、午前十時から開会、沖縄特区を含む五連区(九州各県)から二、〇八〇人の参加であった。大会のテーマは、新たな始まり「心豊かに生きることのできる社会をめざして」であり、勤行(正信心仏偈)、大会会長・大会実行委員長、大会会長のあいさつ、浄土真宗本願寺派仏教壮年会連盟理事長の祝辞があった。続いて、藤井邦磨師(仏教壮年会連盟活動推進講師)の「聞法の拠点づくり：寺院仏教を」の記念法話があった。要旨は、寺院仏教結成率は全国平均二五・二パーセント、五連区は三七・八パーセントである。五十パーセントを目標に努力してほしい。寺院(本堂)

は、先祖がお法を聞かせていたために造った施設である。『蓮如上人御一代記聞書』にあるように、「仏法には世間にひまを闕きてきくべし」、「ただ仏法は聴聞にきはまることなり」である。阿弥陀如来さまは私がお願ひする前から準備していた。それを聞かせていただくのが聴聞である。仏教の皆さんが中心となつて聞法の拠点づくりの活動をしてほしい、というものであった。

次に、鍋島直樹師(龍谷大学文学部教授)の「悲しみによりそう」東日本大震災をたずねての記念講話があり、親鸞聖人における愛別離苦への姿勢

悲しみに寄り添う(①悲しい時には涙を抑えなくてもかまわない、泣きたいときには涙すればいい、②悲しむ心を少し休ませてください、③死を超えた依りどころが心の中に生まれると、悲しみを乗り越えてゆけるようになる)を解説しながら、東日本大震災の岩手・宮城を訪ね、被災地で知った二人の女

性の物語を紹介した。また、宮沢賢治の精神が東北を支えているとの話もあった。法話と講話の間に、アトラクションとして「フラメンコ」、記念行事として「かくれ念仏紙芝居」が行われた。最後に「恩徳讃」を唱和し、午後四時に閉会となった。会場を退場するに当たっては、宮崎教区の御同行の皆さんからの暖かい大きな拍手に送られた。大変ありがたいご縁に遇わせていただいたことに感謝しながら帰途についた。三年後の大会は熊本教区主催で開催される予定である。



おてての しわとしわを あわせて しあわせ なーむー



お仏壇・墓石  
はせがわ

霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店 太宰府インターグッティそば ☎092-503-0800

大規模葬から家族葬まで…

もしもの時に安心な…互助会会員募集中

(株)のがみ 善光会館 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)

# 御笠組門徒推進員

## 連絡協議会を開催

教門寺門徒

大田 和博(釋円修)

二〇一三(平成二十五)年度第二回御笠組門徒推進員連絡協議会を栄法寺で行いました。

今回の協議会は、教団のスローガンが『御同朋の社会をめざす運動(実践運動)』となつていきますので、「実践運動」の一環として、『お念珠を作つて念仏と共に子や孫に相続しよう』を目的に開催しました。

開会式は、勤行「讃仏偈」で始まり担当部門長の挨拶がありました。昼食・懇談会では、初めてお互いに話をする方もおられ、食事中も楽しそうに会話をされていました。



ら、お念珠の実物を見せていただきながら、宗派によつての形、使用方法の違いの説明がありました。また、お念珠・聖典・式章等は私たち念仏者にとつて大事なものであるので粗末にはならないことを教えていただきました。

いよいよお念珠作りで、最初に腕輪念珠、次は単念珠の制作です。殆どの方が始めて制作されるようで「よーかど

う」さんの指導を受けながら車座になって懸命に作っていました。

単念珠の珠通し、房の編み方、結び方となると難しく何回も習いながら作り直していました。

この様な賑やかで実りある会が催しできたことは、阿弥陀如来さまのご縁と受けとめさせていただきます。

西蓮寺お斎



仏教婦人会例会は地域廻りで、春の永代経と秋の報恩講では萩原の婦人会員の方がお当番で作っていただきます。そのメンバーは五十才代から九十五才までとか。まだ耳に留まつているご法話を辿りながら、おもてなしの心で身を慎んで有難くいただいております。報恩講の献立は新米のふつくらごはんに採れたて野菜の筑前煮と味噌汁・酢の物・漬け物です。



御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事  
設計・施工  
石のことなら気軽に御相談下さい。

(有)矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆

筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574  
(FAX) 924-8212

草苑 [SOUEN]

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881  
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

## 仏婦・若婦合同バスハイク

九月三十日に仏婦・若婦合同バスハイクに参加させて頂きました。最初に、八代の勝明寺さんにお参りさせて頂きました。立派なお寺で門徒会館のあちらこちらに飾ってある、坊守様が作られたパッチワークや、さげもんが印象的でした。

お斎も用意して下さっており、思いがけないおもてなしに、今回頂いたご縁のありがたさを実感すると共に、おかげさまで日々生かさせて頂いている私に改めて気づかされました。そのお斎のおいしかったこと!!勝明寺さんに別れをつけ、次は熊本城に向かいました。本丸御殿は藩主の居間や対面所などがあるため、各部屋の装飾も煌びやかで見どころ満載でした。天守閣には、仏婦の方たちとお互いのお尻を持ち上げて励まし合いながら最上階まで登りました。天気も良く、最上階からの眺めは熊本一の街が一望できる大絶景でした。帰りは、馬刺しのお店ののぼりを横目に帰路につきました。あの時馬刺しを買えなかったことだけが心残りです。その日の夕食は馬刺しの予定だったのにー!!馬刺し食べたかったー!!

今回のバスハイクは、普段接することがない、仏婦・若婦の方たちとも交流を深めることができ、また組外のお寺さんの様子も拝見でき、有意義な時間を過ごせました。またぜひ参加したいと思います。

## むさし苑清掃奉仕活動

正栄寺 伊藤 絹子(釋絹翠)

仏教婦人会では十二月十一日(水)十時~十三時半、特別養護老人ホームむさし苑において清掃奉仕をいたしました。この活動は一年に一回させて頂いていただいております。

この日は、仏教婦人会三十四名でむさし苑の一階から四階の廊下や窓や共有スペース等の清掃。厨房の換気扇清掃や車椅子の拭き掃除をさせていただきました。今回はこれまでと違って個人部屋の清掃はありませんでした。担当者によると、「利用者の中には、プライバシーや非日常な環境に戸惑いや不快感を持つ方もいらつしやるから」とのことでした。

清掃が終わると、むさし苑代表の方から、お礼のことばと共に「来年もよろしくお願いします」の言葉も頂きました。

私たちは皆さんに喜んで頂いたことに感謝いたします。



## 念仏奉仕団

来光寺門徒 大藪 晶代(釋敬聞)

十月七日八日念仏奉仕団に参加、本山への念仏奉仕団発足以来六十年の節目とのことで全国よりの参加者は多く、三十三回二十五回等回数を重ねられた方々への表彰式もありました。恥ずかしい事に今まで私は仏婦や研修会等上山の機会はありませんでしたが念仏奉仕団としての参加は初めて、病弱な兄夫婦の本山で帰敬式を受けたいと言う切なる願いに同行した次第です。今回全国の御同行の皆さんと膝をつき合せての御影堂の畳拭きなど、ささやか乍らご奉仕させて頂けたことは嬉しく感謝の念はつきません。

来光寺奉仕団の皆様の助け合い、又出発までの体力作りもありましてか平均年齢も高めでしたが二十五名恙無く終えて、帰路の青蓮院、植髪堂や二休寺、九休寺等京都奈良の穏やかな風情と共に見聞を広め、尊いご縁に遇い生かされている身の幸いを体感し、この感動を行動に思う秋となりました。

合掌



# 子ども報恩講

5年 梅田玲居(伯東寺)

私は、御笠組子ども報恩講に参加しました。みんなで、もちをついて、こねたことが心に残りました。もちをつくときは、精一杯の力でいっしょうけんめいつきました。こねるときは、粉を手につけることを忘れていて、手がベタベタになったけど、やわらかくて気持ちよかったです。もちを食べたときは、ぜんざいがおいしかったです。おろし大根で食べたときは、とても良かったです。

お経をあげるときは、正座はきつかったです。上手に読めたので良かったです。もっと上手によめるようになります。

みんなでしたゲームは、とても楽しかったです。とても楽しい一日でした。



# 子ども一泊研修

3年 石内智貴(栄法寺)

ぼくは、はじめてキャンプに行きました。2はんになりました。しらないお友だちともなかよくなりました。夜にはおつとめをしました。こまった事があつたら、ほとけ様におまいをしましょうと言われました。次の日は、たかのぶくんたちと川あそびをしました。たかのぶくんた



ちはカニをつかまえたけどぼくはつかまえられませんでした。でもぼくは川で貝をみつけました。うれしかったです。また行きたいです。

3年 石松淳信(栄法寺)

七月二十四日と二十五日で、子ども一ぱくけんしゅうに、石内ともき君とさんかしました。さいしよ教円寺に行つて、開会式があり、おまいりをしてみんなで、いこいの森キャンプ場に行きました。あつかったのに物はこびは、つかれたけれど、キャンプファイヤーは、楽しかったです。次の日は、川でサワガニをとつてあそびました。水が、つめたくて気持ちよかったです。おひるごはんを、食べた後、教円寺にもどりへい会式がありました。

5年 七里弥名(正栄寺)

私は夏休みに、みかさ子ども一泊

研しゅう会に参加しました。出発前は、どんな人に会えるのかと楽しみでわくわくしていました。

研しゅう会当日、教円寺さんに行つてみるとあつたことのある人もいて、少しきんちようしたのが楽になりました。みんなとおつとめやウォークラリー、キャンプファイヤーなどをしました。前も一泊研しゅう会で、ウォークラリーをしたことがありましたが、私は今回のウォークラリーの方が自然の中で動き回ることができたので、とても楽しかったです。夜にしたキャンプファイヤーやゲームをしながら火の熱さを間近に感じる事ができました。竹が入った時にパーンと大きな音がしておどろくこともありましたが、研しゅう会は一泊二日の短い時間でしたが、ふだんできない体験ができて、夏休みの楽しい思い出になりました。

本願力に

あひぬれば

4

# 聴聞で生かされている私

西正寺門徒 徳永邦博(釋果淨)

聴聞を通して救われている私も、我執の真只中に日暮らしをしています。釈尊は「生老病死」について常に悩み続けられインド北東部にあるカピラ城をあとにして厳しい修行の道へと進まれたと聞いています。私は今まで傲慢な自己中心的な考え方をしてきたことを聴聞を通して教えられてきたように思います。

浄土真宗の真実の教えには、阿弥陀如来が私達一人ひとりを救わずにはおかぬと働いて下さった本願があります。このような教えから真実の教えを説かれた親鸞聖人の姿に立ち戻り、聴聞すれば、名ばかりの門徒ではなく、しっかりとした信心となつていくものと思っています。毎日朝夕の勤行を通してお念仏により、この私が生かされていくものと思っています。

『歎異抄』には「さるべき業縁のもよほさば、いかなるふるまひもすべし」という一節があります。私達は縁があればどのようなことでも、しでか

すかも判らない愚かな存在でもあります。だからこそ、私達はその研修会や法座に加わり腹をわけて悩みや喜びを出し合い、話し合っている。真実の教えが身に付いていくのではないかと、ひとり勝手に思いをしているところです。『仏説無量寿経』には「人間ほど浅はかなものはない。急がなくてもよいことを急ぎ、争わなくてもよいことを争っている」と言われています。

近年は科学の進歩も著しく日本の美しい自然は開発という美名のもとに次々と破壊され大気、水の汚染をはじめ、東日本一帯の原発放射能による被害から、まだ完全復旧には充分とは言えません。また人と人との関わりが疎遠になり、不安といろいろな恐れをもたらししています。私はこのような現象の中でどう対応していくかを考えると、信心のあり方を見直し、我が心を冷静にした行動をしなければならぬと思います。そして、私はわが家の親子関

係の絆がどんなに結ばれているかも不安のひとつです。

幸い、本年の元旦は子ども達一家と孫たちも加えて曾孫まで交えたご縁に恵まれました。ご仏壇の前にして如来さまや諸仏の方々への感謝がなぜ必要なのか、また念仏することの意味など私なりに話をすることができました。十三名の者でしたが、その時の一人ひとりの眼の輝きに、仏の智慧と慈悲をいただいた晴れやかな顔に遇わせていただき、この上ない私の喜びとなりました。このあとの勤行にも力が入り感動の一瞬を味わい、間もなく八十六才になる者として、子や孫への仏の慈悲が伝えられたようで、何にもまさるものではありません。

さらに、今後は聖人のみ教えにもう一度立ち戻り、ご聴聞にもますます精を出しながら、私の信心をより確かなものにしていきたいものです。

合掌

## 編集後記

おかげさまで、みかさ組報50号刊行を迎えることが出来ました。発刊から25年、諸先輩から受け継がれたこの組報を思いますと身を引き締められます。

毎号大切に編集し、読みやすい組報づくりを目指します。また、短歌・俳句や絵はがき等々、ご紹介できたらと思っております。

これから、みかさ組報をよろしくお願い申し上げます。



## 法律相談

初回相談無料  
毎週月曜日・金曜日  
午前八時半～午後六時  
※弁護士が相談に応じます  
相談専用電話  
(092)711-1432  
◎プライバシーは必ず守られます。  
お問い合わせ 福岡教区事務所  
☎(092)711-1432

ビハラー・ライン・福岡

こころの電話



相談電話 (092)711-1432  
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く  
午後1:00～午後4:30  
プライバシーは守ります  
(相談内容)  
浄土真宗本願寺派社会福祉協議会福岡支部

積善社

筑紫斎場

太宰府市吉松4丁目6-1 (青葉台入口信号角)

☎0120-14-0789 (フリーダイヤル)



お仏壇の

つが

太宰府店

〔駐車場完備〕

太宰府市都府楼南1丁目1-32 ☎(092)923-8080